



# 沖田掃除

**R18**  
ADULT ONLY

ARUKU DENPATOU NO KAI

©Denpa tamokai  
Miffesh





沖田オルター——カルデアに  
出現した二人目の沖田である。

我が銘は魔使・沖田総司、  
召喚に応じ現界した。

「二〇一七年現在」——つまり人理  
焼却事件の全貌解明のため、人理保証  
機関カルデアがわれわれ魔術協会の  
全面的な査察を受けている「いま」。  
ダ・ヴィンチはスタッフ達の身を守る  
ため、とある取引を査察官に申し出た。



カルデアが決してサーヴァント達の暴走によるレイシフト濫用などとしていないことを——つまり、完全にサーヴァントを掌握していることを証明するため——と称して、あるサーヴァントを「検査用サンプル」として差し出してきたのだ。

たしかに降霊科出身の私には、実に興味深い存在だ。しかも——美しい。

性的奴隷  
フムン……文字通りのサーヴァントと  
言うわけだ。おおかた、証拠隠しの  
時間稼ぎという魂胆だろう。

マイルーム  
カルデアのプレイルームに、  
ガラス張りのシャワーが設置  
されているのはこのためか？

まあいい。せいぜい楽しませて  
もらおうとしよう。

既に一通りの聴取は行って見たが、  
どうやらこのサーヴァントは重要  
な機密どころか一般常識レベルの  
知識すら保持していないようだ。

だからこそこんな役に選ばれたのだろうが、  
それならそれで使い道はある。カルデアの  
特殊な召喚式だからこそ可能な裏技……が。  
だが、まずは高い魔力抵抗を突破するため  
私自身の魔力をこの身体に浸透させねば。

以前フユキの聖杯戦争の監督役中に  
回収した令呪の魔力を私自身に通し、  
体液を媒介として霊基を侵食する。

カルデア式の量産令呪とは比較にならない  
高出力の強制力だ。彼女は私の体液を注ぎ  
込まれるたび……それどころか触れるだけで  
少しづつ私のものになっていく。故に私は  
じっくり英雄の柔肌を堪能すればいい。

手はそつと触れるだけにとどめ、  
乳首に泡をまぶす程度の力加減で  
そつと胸を刺激——洗う。すると  
次第に彼女の息づかいが早まり、  
かすかな喘ぎが浴室に響いた。



私に触れるたびに浸食は発動する。全身裸で密着することで、一気に進行が早まったようだ。頬が赤らみ乳首を勃起させ、私に対して発情している。

彼女は自分が査察官に従わなければ皆の安全が保証されない…くらいは聞かされているだろう。泡踊りを命じるとしゅしゅ、嫌そうな顔で従う。

だがその健気な「皆の…そしてマスターのため」耐えようとする思いこそが、やがて私を「彼」と誤認させていく…そういう術式だとも知らずに。



初期の知識は乏しいようだが彼女の「飲み込みの速さ」はすさまじいばかりだ。早くも私の反応から絶妙な力加減を体得するに至っている。



「縁」を媒介としてカルデアというシステム全体を英霊と契約させて、一人のマスターにアカウントを無数に持たせることで数百にも及ぶサーヴァントを単独のマスターに運用させるカルデアのシステム…

だがそれは同時に、他のアカウントから契約に介入できる脆弱性を生み出す諸刃の剣でもある。

査察官としてアカウントを取得したこの私のように…その結果がこれだ。

ぬ、ぬ、ぬ…

お前は今誰のために腰を振っている？  
お前のマスターは誰だ？  
さあ答えるんだ

わたしの…ますたー！  
…は…あなた…だけ

そのとおりだ、  
素晴らしい。  
答えも素股も

あれ…？

そうだった、か…？  
なにか、あたまが、  
ぼうつとして…

ん、ん、ん…

なら、すべてを  
忘れさせてやろう



元来、サーヴァントに対する魔力供給は聖杯を経由するパスの構築以外、性行為による膣内射精が一般的であった。故に今回の術式においてもその効果の強さは言うまでもない。

ははは、これが  
本当の寝取りという  
やつだな

なに……か……  
はいっ……て……

え……っ……？

最高の魔力母体としてのサーヴァントと、  
無垢な乙女とを同時に手に入れる興奮に  
雄としての、そして魔術師としての欲望が  
肉棒を常より堅く熱く滾らせる。私は情欲  
のまま無防備に晒された女陰を蹂躪した。



トロフィーでもあり勝利の晩餐でもある少女を、  
今だけは仕事を忘れて、食らずにはいられない。  
狭いシャワールームの壁を利用して体位を変える。  
滑りやすい壁を使うことで、立位と言うより駅弁  
スタイルに近い動きを楽しめるのだ。自らの体重に  
よる落下が肉棒を最奥まで導いてゆく、不安定な  
体勢への本能的恐怖から男の身体にすがりつく少女。  
その双丘を執拗に弄って肉体に性感を覚え込ませる。





私の体液を流し込むごとに、彼女の反応がより親密に、熱烈に、愛情に満ちてゆくを感じる。

だっはい……っ  
だしてくれ……っ

ほわぁ……

ますたー……  
だいすきだぞ……

美しい少女を私の欲望の液体で穢しているのに認められ赦される。それは例えようのない充溢であり幸福だった。この子を抱こう。何度でも。

♡  
♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡

♡  
♡



やあホームズ。  
我々が査察官殿は  
どうしてる？

相変わらずさ。  
語るまでも、  
ましてや推理  
するまでもない

お盛んなことだね。  
そうなると表向き、  
オル田は一足先に  
退去したことに  
した方がいいかな

まあ遅かれ早かれ  
皆退去するのだから。  
同じ事ではあるのだよ

それにしてもあの男、  
カメラの存在すら  
気にせず一日中...とは  
予測以上ではないかな？

そういえば  
あの男さ

こないだは私の工房から  
マシユの礼装の複製を  
「押収」していったよ

ああ、現在  
進行形で試験中  
...のようだ

まあ、当然だろうね

適合率百パーセントなんて言う  
特異体質でもない限り、人間の  
魔術師程度があんな世界謹製の  
爆弾に対してシステムも介さず  
潜って保つわけがないんだ。

報告書が遅れて  
罷免されるのが先か、  
それとも身体が持たないかは  
わからないが。貴重な時間が  
稼げたのは間違いなく。彼女は  
立派に役目を果たしてくれた



『たとえ異だと  
わかつていたとしても、  
あんな無防備で、かつ  
美味そうな果実に  
手を出さずにいられる  
男がいるわけがない  
：草食系主人公と  
彼女持ちは除いて』

君の言ったとおりになつたな。  
探偵業にでも転職するかね？

なあに、わたしはこう見えて  
男心も女心もどちらもわかる  
スーパームス少女だからね。  
『たやすいことだよ、君』

なるほど。さしずめ君は  
美少女受肉おじさん  
というわけだ。

生身ではない仮の肉体だから  
バーチャル美少女受肉おじさん  
：と言ったところか。  
来年あたり流行るかもしれんな

：言い方は引つかかるけど  
ちよつと作ってみようかな：  
まずは口リ声が出せる  
少女型の筐体から行ってみよう



CONNECTING...

(少女結合中..)



ダ・ヴィンチちゃんを  
めっちゃ問い詰めて  
ようやく吐かせました！

査察官のひと！  
あなたは一体  
もう一人の私に  
何をしたのですか!?

こんな…種火も使わず  
第三霊基まで…私も  
まだだというのに…  
じゃなくして！

いったいどれだけ  
魔力を注いだんです  
死ぬ気ですか？

たいしたことは  
何もしていない。

わたしはただ、  
彼女と愛し  
合っていた  
…それだけだ

そうだ、  
気になるのなら  
君も混ざってみては  
どうかね？

この子の別側面が  
君だというのなら、  
私としては大歓迎だが

くっ…  
発明おばさんがなぜか  
非協力的なので情報が  
ありません…

何かがあるのは  
間違いないと  
この沖田さんの直感が  
告げているのですが…

オル田がこの有様では放置して  
手をこまねいているわけにも  
行きませんし…

ここはあえて誘いに乗って  
罠を食い破る敵中突破で！



とはいえ  
愛し合う場に  
混ぜるって…

ハル…

さあ  
こっちへ  
来なさい  
二人とも



やっぱり  
そうゆうことですよねーっ (汗)



くら…?

これが…  
耳掃除?

あむっ

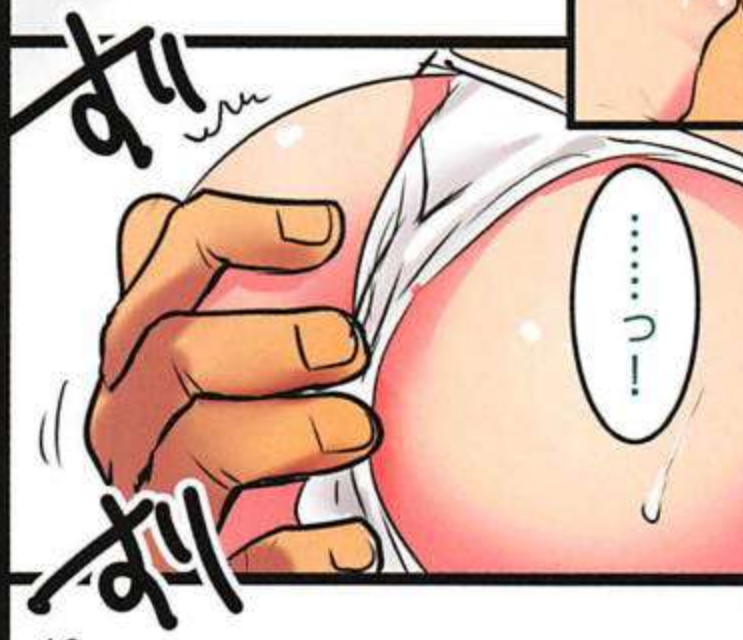


れろ…

まずは…  
耳のお掃除から…



くら



くら



…っ!



くら

あーっ

あんっ♡



ううっ...  
私、男の人の  
おちんちん  
舐めてますよう...っ  
泣きそう.....

おお..  
左右から同時に...

ちゅ...

れっ...♡

素晴らしい...

っぴっ...

え.....っ

なら  
こちらも.....

くっ...くっ...

んん...

んん...

あ...れ...?

私、いつの間に  
脱がされた...ん  
でしたっけ...?

んん...

んん...





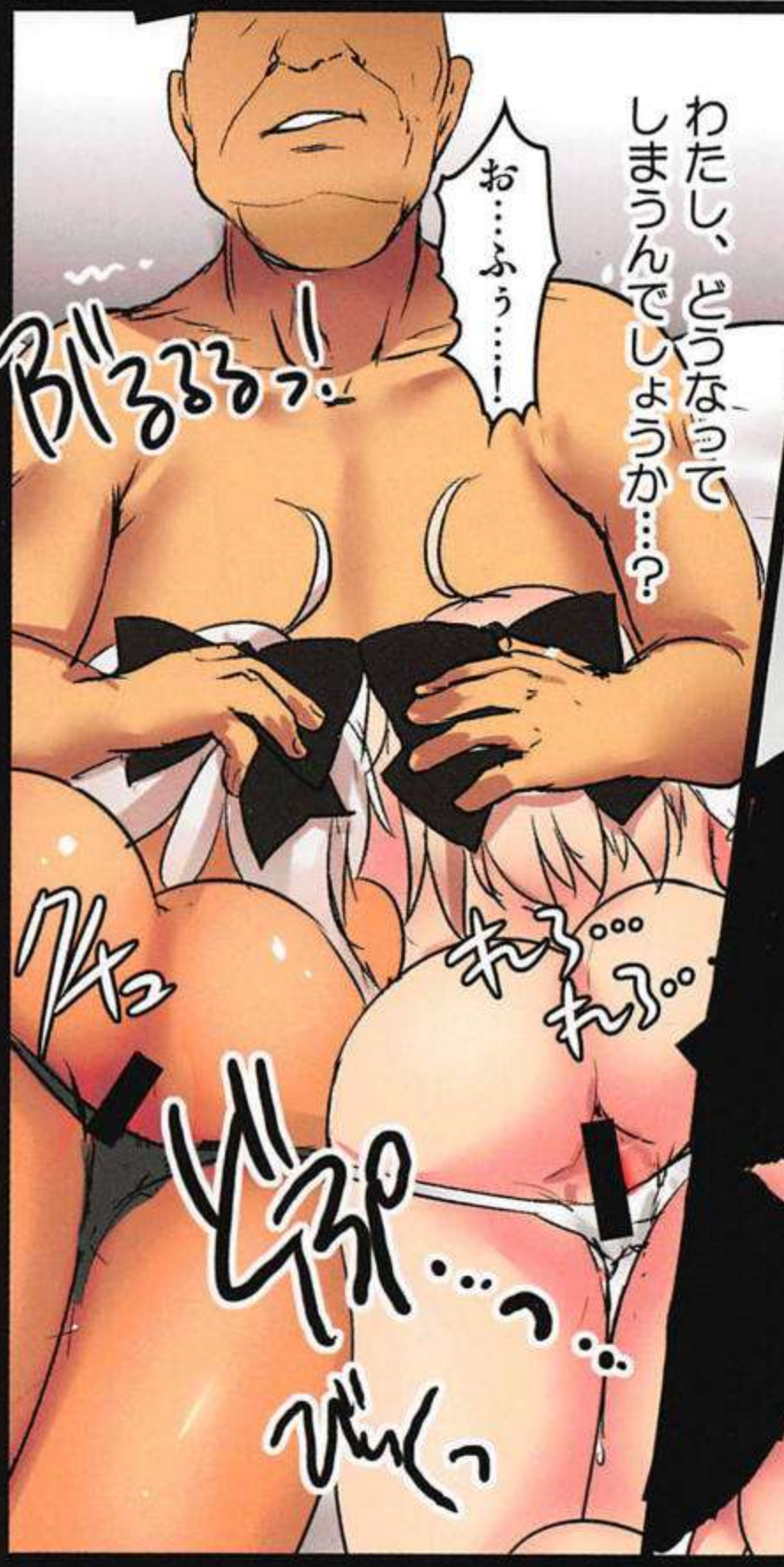
そういえば...  
オル田の方の私の対魔力って  
Bランクでしたっけ...  
わたしの退魔ニン? ちからは  
Eランクなのですが...



なにか...おかしさです  
さっきからほっしりとして  
考えが...散らばります

びゅん

ぽん



びゅん!

わたし、どうなっ  
てしまうんでしょうか...?

お...ふう...

ん

ん...  
ん...

ん...  
ん...



びゅん...

しゅん

なら...もしも  
黒い方にさえ効果のある  
強い魔術効果を浴びたら...

びゅん...



ぽん

ん

ん



ああ...いつもどおり  
たっぷり搾れたね

だけど  
今日はまだ飲んで  
いけないよ?

とろ...?

これに触れるの...  
すく...あじ...

れ...お...

もう一人の君に  
分けてあげなきや

何かこれに  
秘密が...?

...っていま  
何か言ってる...

はあい...♡

!?

とろ...

とろ...

なんでわたしにキスを...  
飲ませようと...してる...?  
アしを...??

それは、なにが、とても  
まずいような、気が...

おとや...

ダメです...押し返しても  
口の中で溶けて...

とろ...

とろ...



30は...

きゃ

じい

スグにいっぱい  
シてもらえる...

よかつたな  
これで...

ますたー...あんなに  
だしたばかりなのに  
もうげんきに、なつた...

な...っ!?

と

さあ...  
めしあがれ♡



覚悟は...  
していたけど

アゲム...

みり...

はたっ

あ...

こんな、に...

ア...

ア...

痛い、  
なんて

あ...

いたいかな?

おまえはわたしより  
からだがちーさいから  
わたしのときよりいたいはず





たっぷりだされて...  
そして...

『お前も私と同じになれ。』

オオオ...

オオオオ...













奥付  
『沖田掃除』

制作:歩く電波塔の会(ときつみか)  
<http://denpatounokai.akiba.coocan.jp/>



印刷:グラフィック

思ってたより印刷所さんの性表現修正規定が厳しかったので  
黒海百八舞になっちゃいました。次は構図で飛す方向で…!

皇紀2678年8月12日(平成最後の夏コミ) 発行

PASS: TWINDRIVE

今回の本で作業が間に合わなくて没になったページの原稿などのおまけデータを  
歩く電波塔の会ウェブサイトにてC94からしばらくの間公開予定です(閲覧には  
ZIP等のパスワード付き圧縮形式ファイルが解凍できる環境が必要となります)。  
右上のQRコードからウェブサイト入り口に乗れます(たぶん)。





# 沖田掃除

R18  
ADULT ONLY

ARUKU DENPATOU NO KAI